

緑内障



視野の変化

(空を見たときの視野のイメージ)



段々と見える範囲が狭くなる

緑内障の治療

緑内障の治療は、眼圧を低くコントロールして、病気の進行をくい止めることが目的となります。薬物療法、レーザー治療、手術が一般的です。

●薬物療法

眼圧を下げるために、房水が作られるのを減らす薬や、房水を外へ排出しやすくする薬が使われます。基本的には点眼薬で房水を調節し、効果が不十分な場合は内服薬を使います。用法・用量をきちんと守って使用してください。

●レーザー治療

レーザーを虹彩や繊維柱帯にあてて、房水を排出しやすくします。

●手術

房水の流れを妨げている部分を切開して、房水が流れやすくしたり、毛様体で房水が作られるのを抑える方法があります。

緑内障患者は30人に1人

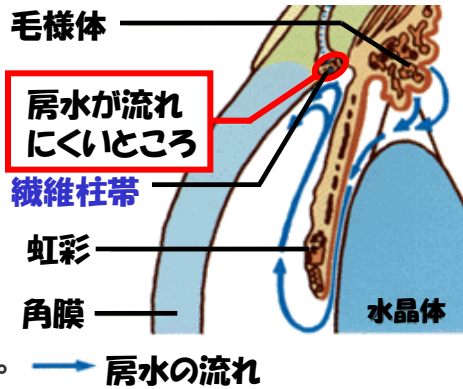


緑内障は、日常生活で気をつけることは特にありません。自覚症状がないことが多いので、定期的に眼科で検査をして、早期発見・早期治療することが大切となります。

緑内障の種類

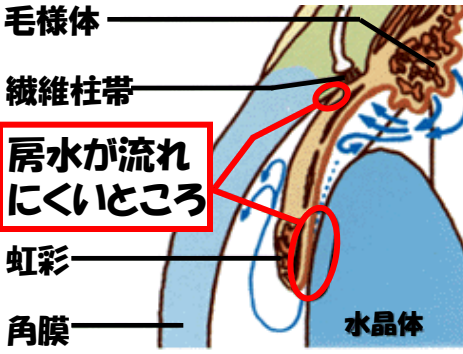
●原発開放隅角緑内障

繊維柱帯という部分が目詰まりを起こし、うまく房水が排出されないために眼圧が上昇する緑内障です。このうち、眼圧が正常範囲(10~21 mmHg)にあいながら視神経が障害されるタイプの緑内障を正常眼圧緑内障といいます。



●原発閉塞隅角緑内障

隅角という部分が狭くなり、房水の排出が極度に障害されるために眼圧が上昇する緑内障です。急激な眼圧上昇を来すこともあり、かすみ目や充血、頭痛などを起こします。これを一般に急性緑内障発作と呼びます。



八王子薬剤センター駅前薬局